

松井かずみ後援会会報

平成26年12月発行

平岡後援会会長あいさつ



平素は、松井かずみ後援会の活動に、ご支援ご協力いただきありがとうございます。今回、後援会会報第3号を発行いたしましたので、皆様にお届けします。

さて、8月の広島での豪雨災害については、74人の方が亡くなり、また多くの方々が被害を受けられました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられた方々に、お見舞い申し上げます。

この大災害に対して松井市長は適切な事態収拾に向けて真剣に取り組み、災害復興に対応されました。

国、県、市との連携もスムーズで復興に向けた動きを加速させました。これは市長が日頃築いてきた行政のネットワークづくりの賜物と考えています。

災害復興を含め市政の課題も多々あるとは思いますが、今後とも市長の行政手腕に期待しています。

今回、松井市長は「広島を目指すべきまちの姿」を発表されました。本会報では、その概要について掲載しております。従来の取り組みに加え新たな方向性等が示されておりますので、ぜひごらんください。

松井市長あいさつ

後援会員の皆様には日頃からお世話になり誠にありがとうございます。

さて、この度の豪雨災害の経験は、地域住民が安心して暮らし続けられる街の大切さ、そして、そのための環境づくりが不可欠であることを改めて痛感しました。

そこで、現在、防災・減災のための将来像を見据えた「復興まちづくりビジョン」の策定を進めているところです。

本ビジョン策定とともに、私が市長に就任して以来の経験と成果を踏まえながら、これからの広島のみちづくりについて現時点での私の思いを今回、「目指すべきまちの姿」としてまとめてみました。今月に予定されていた後援会勉強会の場で皆様にお話させていただくつもりでしたが残念ながら中止となりましたので、後援会事務局に依頼し本会報にて、その概要を掲載してもらうこととしました。

詳細については今後また機会を設けてお話しさせていただければと考えていますので、よろしく願います。



後援会ニュース

「松井さんを支える会」が勉強会を開催

広島の実業経営者で松井市長を支援する団体「松井さんを支える会」では、11月19日に講演会を開催されました。会場は広島商工会議所、当日の参加者は約150名、講演会講師は松井市長が務めました。

演題は、本誌にも一部掲載しております「目指すべきまちの姿」でした。市長は多岐にわたる広島の方針について、要点を抑えつつ、参加者に理解しやすい話しぶりで講演を進めました。

当日、多数参加された地場企業トップの皆さんは講演内容を熱心に聞き入っておられました。

「松井かずみ後援会」からも役員数名が参加いたしました。当後援会では松井市長の支援団体との連携や交流、情報交換等を積極的に進めており、応援の輪を着実に拡大させています。



松井市長の「目指すべきまちの姿」(概要)

I.まちづくりの方向

成熟社会における「循環」を基調とした「平和記念都市広島」!!

広島を世界に誇れる「まち」に

- ・活力とにぎわい
- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・平和への思いの共有

三つの要素を柱としたまちづくりの方向性



社会経済情勢の変化に対応した、人口減少の予測をも打ち破る大胆な施策

200万人広島都市圏構想

近隣市町と、強固な信頼関係の下、互いに地元の資源を生かしながら圏域全体の発展に資する施策を展開

⇒中国山地を越え、瀬戸内海を跨いで圏域の拡大を目指す

展開の際、成熟期に達した社会経済下においては、持続可能な圏域社会の存在が極めて重要となることから、恒久平和の実現を希求する「平和記念都市広島」の継承と、市民生活に関わる様々な分野における「循環」を基本理念としたシステムの構築に傾注する必要がある。

世界に誇れるまちのイメージ



1. 第一の柱である「活力とにぎわい」の下に取り組むまちづくり

これまで

①都市機能の充実強化
都市機能の集積
交通ネットワークの充実強化 など

②産業の振興
中小企業の振興、商店街の振興 など

③観光の振興
「おもてなし」を生かした観光地づくり、美しい都市空間の形成 など

これから

○デルタ市街地の魅力増大 ・都市機能の充実強化を一層推進

○中山間地・島しょ部の活性化 ・中小企業の支援、農林水産業の支援
・定住・交流の促進、コミュニティの再生

○市民ニーズに対応した公共施設の老朽化対策 ・「インフラ資産」の長寿命化
・「ハコモノ資産」の将来ニーズを踏まえた整備

これまでの取組(上記①②③)に加え、これからは次世代を担う者にとってデルタ市街地をより一層魅力あるものにするという視点とともに、中山間地・島しょ部の活性化という視点も加味して取組を強化する必要がある。

急速な人口減少、高齢化を跳ね返すためには、市街地は勿論のこと、中山間地・島しょ部にも多くの人が集えるようにすることで、市域全体を発展させる必要がある。

そのため、都市機能の充実強化を一層推進するための対策とともに、中小企業の雇用を守るための支援や農林水産業の維持・振興の支援を確かなものにし、それぞれの地域が持つ魅力や特性を生かしながら市域全体で定住・交流の促進とコミュニティの再生を図っていく必要がある。

また、市内の公共施設は、整備後30年から40年もの期間を経過し、老朽化が進んでいることから、いかに総合的かつ計画的な管理をおこなっていくかが問題となっている。そのため、道路、橋りょうなどの市民生活を支える基盤となる「インフラ資産」は施設全体の機能維持を図るだけでなく、長寿命化や、安全確保に向けた点検が必要となる。文化・スポーツ・福祉施設などの「ハコモノ資産」は、それらの機能を将来の市民ニーズにいかにかかすか、特に、公民館や集会所は、コミュニティの再生にいかにかかすかという観点に立って、整備を進めていく必要がある。

活力とにぎわいに視点を置いたまちづくりの具体的施策の紹介

・「広島駅周辺地区の整備推進」⇒

- ①広島駅南口B、Cブロック市街地再開発事業
 - ②二葉の里地区の開発
 - ③広島駅南口広場の再整備等
 - ④広島駅自由通路等整備
 - ⑤広島市民球場周辺地区開発
- ・旧広島市民球場跡地の活用
・広島大学本部跡地の活用
・公共交通を中心とした都市内交通の円滑化
- ①JR可部線の電化延伸など
 - ②白島新駅の整備
 - ③広島高速道路の整備
- ・自転車都市づくりの推進
・地域特性や求められる役割に応じた商店街振興
・豊かな自然を生かした農林水産業振興
・観光の振興
・花と緑の広島づくりの推進



2. 第二の柱である「ワークライフバランス」の下に取り組むまちづくり

これまで

- ①雇用の促進等 安定した仕事に就くための環境づくり、仕事と子育ての両立支援 など
- ②保健・医療の充実 健康づくりの支援、疾病の予防と早期発見 など
- ③福祉の充実 高齢者や障害者の支援 被爆者の援護施策 など
- ④未来を担う子どもの育成 家庭・地域社会・学校の連携・協力 など
- ⑤スポーツ・文化芸術の振興等

これから

- 仕事と生活を調和させるための移動手手段の確保
・移動手手段を普及定着するための支援策を強化 ・新たな公共交通体系づくり
- 心通い合うコミュニティの形成
・町内会等の様々な社会活動を支援 ・地域ぐるみの子育て、安全・安心に暮らせる生活環境の整備

市民が住み慣れたまちでの暮らしを継続できるようにするための移動手手段確保や新たな公共交通体系づくり。市民が自分たちのまちづくりを進めるための支援策や、地域ぐるみの子育て、安全・安心に暮らせる生活環境を整備するための対策が必要となる。

3. 第三の柱である「平和への思いの共有」の下に取り組むまちづくり

これまで

- ①核兵器廃絶と世界恒久平和の実現 平和宣言、平和首長会議の活動の充実・強化 など
- ②「迎える平和」の推進 国際会議等の誘致、被爆体験の継承・伝承など
- ③被爆70周年に向けて 被爆都市ヒロシマの役割を再認識し、まちづくりの新たな一歩を踏み出す年とするための取組を検討

これから

- 「平和記念都市広島」の佇まいを実感できるようにするための取組強化
・世界中の人々が市内の至る所で実感できるようにする
- グローバルな視点に立った平和活動の推進 ・平和首長会議メンバー都市間で交流事業を実施

II.都市構造を踏まえた戦略とまちづくりの展開

広島都市構造 = 三つのエリアで構成

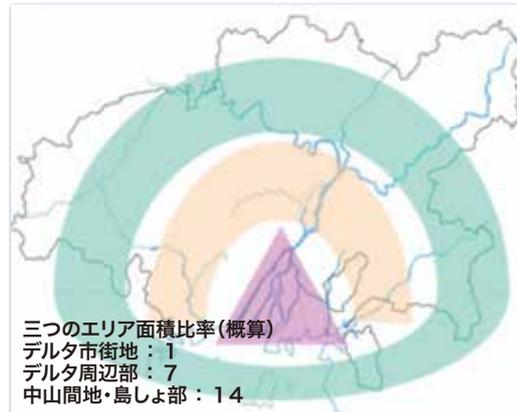
まちづくりの方向性は三つの柱

- ①活力とにぎわい
- ②ワークライフバランス
- ③平和への思いの共有

で取組まれているが、まちづくりには、広島都市構造を踏まえた展開が必要となってくる。

その都市構造は、右図のように三つのエリアで構成されている。それぞれのエリアの構造を認識し、災害に強い安全・安心な環境を創り上げることを基調としつつ、まちづくりの戦略をたてる必要がある。

◎「目指すべきまちの姿」は次号以降で引き続き掲載予定。



後援会事務局からのお知らせ

・「松井かずみを囲む会(勉強会)」開催中止について

12月6日に予定しておりました後援会行事は衆議院選挙期間となってしまいましたので、残念ながら中止といたしました。早々に参加申し込みいただいた皆様には、ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。今後の行事開催等につきましては、改めて、ご案内差し上げますのでよろしくお願い致します。

《編集後記》後援会会報、第3号発行について

6月、9月に続いて会報第3号を発行いたしました。皆様のご支援、ご協力により会員数も増加しております。今後のさらなる会員増を期待するとともに会報内容の充実に向け努力いたします。一段と寒さが厳しくなる時期です、会員の皆様には風邪など召されませんようご自愛ください。

松井かずみ後援会 入会のご案内

松井かずみ後援会は松井かずみの政治活動を支援することを目的とする団体です。

よりよい広島市政の発展を願い、講演会・座談会・研修会等の開催や、関係諸団体との連携、会員相互の親睦を深める活動等を行います。

本後援会は、松井かずみを応援していただける個人の方なら入会いただけます。

広島市を「世界に誇れるまち」にするため、今後とも全力投球できるよう多くの方々のご協力・ご支援をお願いいたします。

【入会申込】

入会申込は別紙「後援会入会のしおり」に添付のハガキをご利用ください。

【年会費】 2,000円 (平成26年度は本金額でお願いします)

法人・団体等からお受けすることはできません。個人でのご入会をお願いします。

年会費を上回るご入金につきましてはご寄附とさせていただきます。

【寄附申込】

※年会費とは別に、ご寄附についても受付させていただきます。

後援会活動は皆様からの会費とご寄附に支えられています。

【会費・寄附金振込先】 松井かずみ後援会(受取人名)

下記いずれかの方法で入会者氏名(個人名)にてお振込願います。

・郵便局振込の場合

① 振込取扱票 (入会のしおりに同封の用紙)による振込。振込手数料不要です

② 上記振込取扱票無の場合 広島西郵便局 記号15110 番号6835141 振込手数料各自負担

・銀行振込の場合 広島銀行本店営業部 (普通) 口座番号 3890253 振込手数料各自負担



松井かずみ後援会事務局

〒730-0806 広島市中区西十日市町10-12第3西十日市ビル303

E-Mail matsukoenkai@ae.auone-net.jp Tel:082-233-2467 Fax:082-233-2478